



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成28年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社  
 コード番号 8050 URL <http://www.seiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 吉伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 瀧沢 観 TEL 03-3563-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期 第1四半期の連結業績 (平成28年4月1日 ~ 平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	59,433	△ 15.9	886	△ 80.2	139	△ 97.3	△ 1,268	—
28年3月期第1四半期	70,673	10.0	4,474	56.9	5,148	118.5	3,731	297.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △7,252 百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 5,535 百万円 (△18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△ 6.14	—
28年3月期第1四半期	18.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	316,449	27.1	93,906	27.1	—	—
28年3月期	329,115	28.7	102,692	28.7	—	—

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 85,599 百万円 28年3月期 94,521 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	140,000	△ 7.6	8,000	△ 29.4	8,000	△ 29.2	5,000	△ 33.5	24.20
通期	290,000	△ 2.3	12,000	△ 9.8	12,000	1.0	10,000	△ 17.6	48.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	207,021,309 株	28年3月期	207,021,309 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	387,793 株	28年3月期	387,793 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	206,633,516 株	28年3月期1Q	206,642,566 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業的前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2016年4月1日～6月30日)における世界経済は、米国では前年より続いていた減速傾向から立ち直りの兆しを見せるものの力強さに欠けており、欧州では緩やかな回復基調にありましたが6月末のBrexitによる混乱が生まれました。中国でも依然として緩やかなテンポながら景気の減速が続いています。わが国の経済は円高の影響やインバウンド需要の変調、外需の低迷、株価の大幅下落など環境の悪化から、足踏みの状態が長引いています。

当社の当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期より112億円減少し、594億円(前年同期比15.9%減)となりました。事業別では、円高による影響などのためウオッチ事業、電子デバイス事業で前年同期より売上が減少した一方、システムソリューション事業の売上は前年同期より増加いたしました。連結全体で国内売上高は330億円(同4.7%減)、海外売上高は264億円(同26.7%減)となり、海外売上高割合は44.5%となりました。利益面では、営業利益は前年同期を35億円下回る8億円(同80.2%減)に留まりました。さらに為替差損の計上などにより営業外収支が悪化したことから、経常利益は1億円(同97.3%減)となりました。法人税等は前年同期と同水準となったことから、法人税等および非支配株主に帰属する四半期純利益控除後の親会社株主に帰属する四半期純損失は12億円(前年同期は37億円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となっております。

### 【セグメント別の概況】

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### ① ウオッチ事業

ウオッチ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比79億円減少の307億円(前年同期比20.5%減)となりました。国内では、「ルキア」、「アストロン」、「プレザージュ」などは順調に推移しましたが、「グランドセイコー」など高額品は株価低迷の影響などにより伸び悩みました。また、流通別ではインバウンド需要の変調により量販店向けの売上が前年同期を大きく下回りました。海外では、国ごとに変動はあるものの、全体で現地通貨ベースでは概ね前年同期並の売上となりましたが、円高の影響により円貨ベースでの売上高は減少いたしました。ウオッチムーブメントの外販は、取扱商品の縮小の影響のほか、米国・中国の時計市場の低迷から悪化いたしました。

利益につきましては、売上高の減少により営業利益は前年同期比25億円減少の13億円(同65.0%減)となりました。

#### ② 電子デバイス事業

電子デバイス事業は売上高198億円(前年同期比18.0%減)、営業利益3億円(同62.3%減)となりました。半導体が車載向けやスマートフォン向け製品等を中心に数量ベースでは堅調に推移したものの、円高の影響により大きく売上が落ちたほか、他の分野でも幅広く円高の影響を受けております。

## ③ システムソリューション事業

システムソリューション事業は売上高 46 億円（前年同期比 34.1%増）、営業利益 2 億円（前年同期は 2 億円の営業損失）となりました。決済端末などのデータサービス事業やホームセキュリティ向けのモバイルソリューション事業などが好調に推移しました。

## ④ その他

その他の売上高は 60 億円となりました。その他に含まれる事業では、インバウンド需要の変調により和光事業で売上が落ちたほか、クロック事業でも海外向け出荷の月ずれなどのため前年同期より売上が減少しました。営業損失は 6 千万円（前年同期は 1 億円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【資産・負債・純資産の状況】

当第1四半期連結会計期間末の総資産は 3,164 億円と、前年度末に比べて 126 億円の減少となりました。たな卸資産が 40 億円増加した一方、現金及び預金が 47 億円、受取手形及び売掛金が 77 億円減少したことなどにより流動資産は 90 億円減少し、1,505 億円となっております。固定資産では、投資その他の資産が 34 億円減少した結果、合計で 36 億円減少し 1,658 億円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金が 20 億円、流動負債その他が 27 億円増加した一方、未払金が 52 億円、未払法人税等が 9 億円、賞与引当金が 16 億円減少したことなどで負債合計では前年度末より 38 億円減少の 2,225 億円となりました。なお、長短借入金は 2 億円の増加となっております。

また、株主資本は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上と配当金の支払いなどにより 28 億円減少し、その他の包括利益累計額合計も円高の影響による為替換算調整勘定の悪化などから 61 億円減少したことで、純資産合計は前年度末と比べて 87 億円減少の 939 億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の事業の状況は上記のように円高、インバウンド需要の変調、株価の低迷など外部環境の変化の影響を受け前年同期より悪化しておりますが、一部の要因はすでに織り込み済みであったことに加え、これらの環境の今後の変化を見極めるとともにそれらの影響に対する対応策に取り組みつつあることから、現時点では第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。平成28年5月10日に公表しました平成29年3月期の連結業績見通しの変更が必要な場合には速やかにお知らせいたします。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,131	34,364
受取手形及び売掛金	41,623	33,899
たな卸資産	65,196	69,201
未収入金	3,753	3,149
繰延税金資産	4,966	4,184
その他	6,466	7,205
貸倒引当金	△1,488	△1,408
流動資産合計	159,649	150,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,424	70,307
機械装置及び運搬具	80,454	79,910
工具、器具及び備品	30,654	30,114
その他	2,983	2,981
減価償却累計額	△140,016	△137,741
土地	48,674	48,359
建設仮勘定	1,758	624
有形固定資産合計	94,934	94,557
無形固定資産		
のれん	7,663	7,520
その他	8,262	8,641
無形固定資産合計	15,925	16,161
投資その他の資産		
投資有価証券	42,407	39,495
繰延税金資産	8,966	8,676
その他	7,432	7,143
貸倒引当金	△199	△181
投資その他の資産合計	58,606	55,134
固定資産合計	169,466	165,853
資産合計	329,115	316,449

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,267	26,320
電子記録債務	7,766	7,887
短期借入金	39,565	47,553
1年内返済予定の長期借入金	35,342	34,119
未払金	15,442	10,192
未払法人税等	1,851	867
繰延税金負債	19	19
賞与引当金	4,054	2,362
その他の引当金	766	574
資産除去債務	16	—
その他	10,696	13,418
流動負債合計	139,789	143,317
固定負債		
長期借入金	49,811	43,344
繰延税金負債	9,232	8,385
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	605	552
退職給付に係る負債	17,011	16,956
資産除去債務	459	649
その他	5,898	5,722
固定負債合計	86,633	79,225
負債合計	226,423	222,542
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,246	7,245
利益剰余金	57,323	54,504
自己株式	△158	△158
株主資本合計	74,411	71,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,719	9,063
繰延ヘッジ損益	△28	△434
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	1,647	△2,416
退職給付に係る調整累計額	△417	△395
その他の包括利益累計額合計	20,110	14,007
非支配株主持分	8,170	8,306
純資産合計	102,692	93,906
負債純資産合計	329,115	316,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	70,673	59,433
売上原価	44,510	36,653
売上総利益	26,163	22,780
販売費及び一般管理費	21,689	21,894
営業利益	4,474	886
営業外収益		
受取利息	49	36
受取配当金	490	369
為替差益	348	—
その他	593	649
営業外収益合計	1,482	1,054
営業外費用		
支払利息	555	458
為替差損	—	970
その他	252	371
営業外費用合計	807	1,801
経常利益	5,148	139
税金等調整前四半期純利益	5,148	139
法人税等	1,321	1,214
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,827	△1,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	192
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,731	△1,268

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,827	△1,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	340	△1,567
繰延ヘッジ損益	△17	△406
土地再評価差額金	4	—
為替換算調整勘定	952	△3,727
退職給付に係る調整額	14	16
持分法適用会社に対する持分相当額	412	△492
その他の包括利益合計	1,708	△6,177
四半期包括利益	5,535	△7,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,427	△7,370
非支配株主に係る四半期包括利益	107	117

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ウオッチ 事業	電子 デバイス 事業	システム ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,371	23,137	3,462	64,971	5,702	70,673	-	70,673
セグメント間の 内部売上高又は振替高	291	1,015	35	1,343	1,128	2,471	△2,471	-
計	38,663	24,152	3,498	66,314	6,830	73,145	△2,471	70,673
セグメント利益又は損失(△)	3,990	1,058	△295	4,754	140	4,894	△420	4,474

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クロック事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△420百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ウオッチ 事業	電子 デバイス 事業	システム ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,459	19,110	4,649	54,220	5,213	59,433	-	59,433
セグメント間の 内部売上高又は振替高	291	700	41	1,033	879	1,912	△1,912	-
計	30,750	19,811	4,690	55,253	6,092	61,346	△1,912	59,433
セグメント利益又は損失(△)	1,396	398	263	2,059	△68	1,991	△1,105	886

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クロック事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△1,105百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等△63百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△900百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。